

平成 22 年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」
課題の指定について平成 22 年 8 月 20 日
総合科学技術会議平成 22 年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」
課題として、下記の課題を指定することとする。

課題名	内 容	担当府省等
口蹄疫対策に資する緊急研究	<p>本年4月に発生した口蹄疫により甚大な被害が発生したところであり、東アジアにおける発生状況に鑑みて、再発生の可能性が否定できないことを踏まえれば、早急な再発防止策の構築が必要である。</p> <p>このため、早急に知見を収集して、次の発生に備えた防疫体制の構築に必要な技術的課題の解決に取り組むため、早期発見手法の開発等を機動的に実施する。</p> <p>(実施予定期間 平成22年度)</p>	文部科学省 農林水産省 環境省

(参考)

平成22年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」
課題「口蹄疫対策に資する緊急研究」の実施体制について

平成22年9月9日
文 部 科 学 省
農 林 水 産 省
環 境 省

平成22年8月20日付で総合科学技術会議により、別紙の通り平成22年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」課題として指定された「口蹄疫対策に資する緊急研究」については、下記の体制により実施することとする。

研究代表者：濱岡 隆文

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所所長

(1) 口蹄疫早期発見のための体制強化

通報までの時間を短縮し、初動対応を迅速に行うことを目的として、口蹄疫と類似の症状を示し、水疱を形成しない疾病について、オンサイトで簡便に検出する検査キットの開発、及び海外で市販されている口蹄疫簡易キットの感度・特異性の検証を実施。

<実施機関>

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所

国立大学法人 岐阜大学

栄研化学株式会社

(2) 野生動物感染時に備えた危機管理手法の開発等

野生動物の生息状況に基づく口蹄疫ウイルス感染時の危機管理モデルの検討を行うことを目的として、海外先進地におけるリスク評価シミュレーションや個体群管理ポリシーに関する情報収集、北海道地区等での危機管理モデルの試行的適用等を実施。また、国内防疫指針・対応マニュアル等への反映を目的として、海外における口蹄疫に対する消毒法等の調査、国内における今後の消毒法等の検討を実施。

<実施機関>

独立行政法人 森林総合研究所

国立大学法人 北海道大学

国立大学法人 東京大学

国立大学法人 東京農工大学

国立大学法人 岐阜大学

国立大学法人 宮崎大学

(別紙)

平成22年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」
課題の指定について

平成22年8月20日
総合科学技術会議

平成22年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」
課題として、下記の課題を指定することとする。

課題名	内 容	担当府省等
口蹄疫対策に資する緊急研究	<p>本年4月に発生した口蹄疫により甚大な被害が発生したところであり、東アジアにおける発生状況に鑑みて、再発生の可能性が否定できないことを踏まえれば、早急な再発防止策の構築が必要である。</p> <p>このため、早急に知見を収集して、次の発生に備えた防疫体制の構築に必要な技術的課題の解決に取り組むため、早期発見手法の開発等を機動的に実施する。</p> <p>(実施予定期間 平成22年度)</p>	文部科学省 農林水産省 環境省